

ふゆ とり 冬の鳥がやってきた！！

みどり森の冬の鳥

パート2

越冬地を求めて狭山丘陵に渡ってくる冬の鳥は、シベリアから海を越えて日本にくる【冬鳥】と、山地などで繁殖し、冬には低地へ下りる国内移動タイプの【漂鳥】です。

自力で長距離を飛んで移動する鳥たちの渡りは、とても大変。天敵のタカに狙われたり、中継地の天候悪化で足止めをくらったり。だからこそ、会えたらラッキー！

今回はラッキー度を★3つで表現してみました。あなたはもう、彼らに会えましたか？

※星が多いほどラッキー！！

冬鳥

シメ (アトリ科) ★
全長 18cm



かむ力は人間以上！

※ちなみに20才成人男性の前歯の「かむ力」は20～25kg

見るからに頑丈そうなくちばしは、かむ力が30kg以上もあるらしい…大谷戸湿地のカエデや展望広場のエノキの木の高いところでよく見かける。

頑丈なくちばしで固いタネを食べる様子をぜひ観察しよう。

地面に降りて、落ちていたタネを食べていることもある。

後頭部が灰色なので、後ろ姿は茶髪の刈り上げ青年っぽい。

鳴き声は控えめに「…ピチッ」と鳴く。

冬鳥

マヒワ (アトリ科) ★★★★★
全長 12.5cm



しんしゅつ き ぼつ 神出鬼没、小さな黄色の鳥

小さな鳥で、色はうす黄色をしている。

群れで広範囲をあちこち移動するので神出鬼没。

西久保湿地のハンノキのタネを食べたり、春先にクヌギの花芽だろうか？

しきりに何かをついばんでいることもある。「チュヒーン」と小さな声で

鳴くので遠くにいると思って探すと、意外と近くにいることも…。

冬鳥

ベニマシコ (アトリ科) ★★★★★
全長 15cm



うすべに 薄紅色の人気者

みどり森には毎年11月頃に渡来。大谷戸湿地のアシ原から「フィッ」とか「ピッホ」という声が聞こえたら、よく探してみよう。アシやスキの穂先で鳴いているかもしれない。

アシやヨモギなどの小さなタネを食べているようだ。

渡来時のオスは、メスのような地味な羽色だが、

春が近づくほど赤味が増す。

漂鳥

ウソ (アトリ科) ★★★★★
全長 15.5cm



た い し ゚ ょ っ か ん 可愛い顔して大食漢

「フィ・・・」という声が口笛のように聞こえることから、口笛の古語「うそぶく」が名前の由来。

オスは、ほおからのどにかけて紅色をしている。

食べ物は タネより木の芽を好むらしく、桜

や梅の花芽を食い荒らす害鳥と言われることも…。

みどり森では、ヤマザクラの芽などを食べている。

食事中、くちばしの周りに花芽等の食べカスをつけていることがよくある。

漂鳥

カケス (カラス科) ★★★★★
全長 33cm

ドングリ大好き！ 忘れん坊の森作り職人

「ジェーイ」「ジャアジャア」という声が聞こえたら近くにいるかも。音まねが得意で、トビやネコの声、サイレンなどいろいろな音をまねることがある。

ドングリを蓄える習性があり、埋めて蓄えた場所を忘れたり食べ残されるとドングリから芽が出るので、森を作るのに一役買っている。

秋、のど袋をドングリでいっぱいにして重そうに飛び姿は思わず、応援したくなる。



参考文献：原色日本野鳥生態図鑑 陸鳥編 保育社、名前がわかる野鳥大図鑑 永岡書店 鳥のおもしろ私生活 主婦と生活社、野外ハンドブック4野鳥 山と溪谷社

漂鳥

アカゲラ (キツキ科) ★★★★★
全長 23.5cm

赤き森の大工

留鳥のアオゲラより

ひと回り小さいキツキ。

背面は白黒模様、足の付け根からお尻にかけて赤い色をしている。

「キョッ、キョッ」や「ケレケレケレ…」という、キツキ特有の音がしたら探してみよう。

見通しのさく、尾根沿いが観察ポイント。

両足と固い尾羽で体を支え 幹や枝を力強くつつく姿は、まさに森の大工さん。



～冬鳥劇場パート2～ いるんですけど??



地上では…

地上では…

気付かれないのであった。

◆食育体験教室
～麦を育ててうどんを打とう！～

この地域の郷土作物である麦を育ててうどんを打ち、食べるまでを体験する、全6回にわたるイベントです。

日時：10月31日、12月5日、1月9日、
5～7月の各月1回(日程未定)、
いずれも土曜日、10:00～15:00

※開催日より、集合時間、終了時間が異なります。詳しくはお問合せください。
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名
参加費：4500円(全6回分、保険代、材料費、加工費)
要申込：9月31日より受付開始

◆みどり森「里山ようちえん」

幼児期に親子で里山の自然との触れ合い、野外で遊ぶことを目的とした、自然体験型の森のようちえんです。お弁当持参。

【カエル組】

日時：①11月7日(土) 10:00～13:30
②12月12日(土) 10:00～13:30
対象：4/1の時点で満4～5歳の未就学児と保護者

【オタマ組】

日時：①11月18日(水) 10:00～13:30
②12月16日(水) 10:00～13:30
対象：4/1の時点で満2～3歳の未就学児と保護者

★定員：各組/各回20名
★参加費：親子2名1000円(保険代・材料費)
★要申込：各開催日の1カ月前より受付開始

◆見て！知って！味わって！
めざせ、どんぐりマスター！

身近な木の実「どんぐり」を拾って観察したり、味わったりして、どんぐりマスターを目指します。

日時：11月14日(土) 10:00～12:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名
参加費：300円(保険代、材料費)
要申込：10月14日より受付開始

◆里山体験教室(全3回)

昔から行われてきた里山の雑木林の管理(下草刈り、落ち葉掃き、伐採、シイタケ棺木作りなど)を体験します。

日時：12月13日、1月17日、3月6日 いずれも日曜日
10:00～15:00
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)全3回参加できる方
定員：20名
参加費：1500円(全3回分、保険代、材料費)
要申込：11月13日より受付開始

◆里山文化講座
お正月のしめ縄を作ろう！

しめ縄を作りながら、由来等も楽しく学べるイベントです。新年を手作りのしめ飾りで迎えてみませんか？

日時：12月19日(土) 10:00～12:30
対象：小学生以上(小学生は保護者と参加)
定員：20名
参加費：500円(保険代、材料費)
要申込：11月19日より受付開始

★イベントのお問合せ・申し込み★

電話(04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。イベント内容等の詳細は、お気軽にお問合せください。また、公式ホームページからお申し込みできます。みなさんのお申し込みをお待ちしております！

「みどり森週末ガイドウォーク」実施中！ ★参加費無料/当日案内所にて受付(定員になり次第、締切)

事前申込みの必要なイベント以外に、下記日程で当日募集型のガイドウォークを実施中(定員は各回15名、年齢制限はありません)。案内所や大谷戸湿地周辺をスタッフがご案内します。内容は毎回変わりますので、どんなテーマか?当日までお楽しみに!

【10～12月のガイドウォーク実施日】

10月11日(日)、11月8日(日)、11月28日(土)、12月13日(日)
実施時間：【土曜日】13:00～14:00 【日曜日】11:00～12:00 ※曜日により実施時間が異なりますのでご注意ください。

博物館からのお知らせ

◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

◆アクセス◆

★公共交通機関をご利用の場合★
小手指駅南口より西武バス
「宮寺西」または「金子駅入口」 行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

★案内所までの地図★

右のQRコードを読み込むと緑の森博物館のHPのアクセスページが開きます。(一部、携帯電話では確認できない機種があります)



★ご来館時のお願い★

駐車スペースに限りがありますので電車・バスをご利用ください。特に緑の森フェスタ期間は、公共交通機関のご利用をお願いします。

開館時間 9:00～17:00 【入館無料】
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)
【公式HP】 <http://saitama-midorinomori.jp/>
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行：さいたま緑の森博物館
発行年月：2015年10月
住所：〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1
TEL/FAX：04-2934-4396

湿地に咲いていたミゾソバやツリフネソウも、いつの間にか実をつけ、白く輝くススキやオギの穂が風に揺れるようになってきました。これからの季節、雑木林には夏鳥にかわって、冬鳥の姿も見られるようになり、木々の実りが越冬する彼らの大切な食料になります。

秋はかけ足。実りの様子も紅葉の様子も、ひとつひとつじっくり楽しみながら散策してみてください。

今号の特集は、一昨年の冬号(No12:2013年1月発行)に続いて、みどり森の冬鳥の紹介パート2です。秋から冬のバードウォッチングの参考にしてくださいね。



緑の森フェスタ2015

今年の緑の森フェスタは、開館20周年でさらにバージョンアップ！緑の森博物館周辺の自然をテーマにした写真や絵画、クラフトなどの作品展の他、週末にはツリークライミングやクラフトコーナー、昔遊びコーナーなど、里山の自然や暮らしと触れあうイベントを開催します。青空マーケットでは、地元野菜の販売や、からだにやさしい食材を使った食事やお菓子工房の出店など楽しいこと盛りだくさん！みなさまのご来館をお待ちしています！
なお、フェスタ期間中は、駐車場スペースに限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

日時：11月10日(火)～15日(日) 10:00～16:30 ※最終日の作品展は15:30まで

ツリークライミング
11/14(土)
10:00～15:00



オカリナ風の音
11/14(土)
12:30～13:00



野外朗読劇
11/14(土)
13:15～13:45



青空マーケット
11/14・15(土・日)
10:00～16:30



水鳥の池クルーズ
11/14・15(土・日)
14:30～15:30



今年の目玉イベント(予定)

～さいたま緑の森博物館開館20周年記念「伐採」～

雑木林のコナラやクヌギは15～20年周期で伐採し、薪として利用されてきました。開館から20年の月日を経て大きく成長した多目的広場の開館記念植樹のコナラを、萌芽更新(ぼうがこうしん)させるために、記念伐採を行います！ ※萌芽更新とは伐採して切株から生える萌芽枝を育てることを言います。

日時：11月15日(日) 10:00～11:30 ※雨天中止
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)
参加費：無料
定員：20名(先着順)
※参加受付は、当日9:00から案内所で行います。



15日にはチェーンソーアートや音楽の演奏などもあります



※各イベントのスケジュール等は、天候等より変更となる場合があります。ご了承ください。イベント詳細は、当館HPおよびイベントチラシ、当日の案内掲示にてご確認ください。



★緑の森フェスタ告知のため、シリーズ「みどり森 里山広辞苑」は今号ではお休みします。次号をお楽しみに。